

平成16年度 中小企業組合検定試験

問題と解答(1) 組合会計 ①

全国中小企業団体中央会

平成16年度中小企業組合検定試験は、平成16年12月5日(日)に「組合会計」、「組合制度」、「組合運営」の3科目について実施され、3月1日に合格者発表がされている。本誌では、全国中央会から発表された、問題と解答について各科目ごとに順次紹介してゆく。

〔総評〕

本年度の「組合会計」の試験は、受験申込者が377名、当日の受験者は277名で、受験率は73.5%であった。昨年度に比べると、受験者数は54名減、受験率で1.9ポイント減といずれも下回った。一方、合格者は199名、合格率は71.8%で、昨年度に比べ、人数は57名増、率では28.9ポイント増といずれも大幅に上回った。

「組合会計」の受験者と合格率について、新規受験者(3科目受験者)と科目免除のある受験者(既に「組合制度」、「組合運営」のいずれか又は両方に合格して本年度「組合会計」を受験した人)別にみると、受験者数では新規受験者が184名で受験者全体の66.4%(昨年度は60.4%)を占めた。一方、合格率では新規受験者が68.5%(昨年度は43.5%)、科目免除者が78.5%(昨年度は42.0%)

と、両者間に10ポイントの差がみられた。

得点結果をみると、最高得点は100点、最低得点は8点、平均点は66.3点で昨年度より15.2ポイント上回った。問題別の得点状況をみると、得点率が高かったのは第3問の問2で、平均得点率(配点に対する平均点の比率)は82.7%と高率であった。逆に低かったのは第1問で58.8%であったが、今年度は問題間の平均得点率の格差が大幅に縮小している。

第1問は、会計原則の一つである「正規の簿記の原則」についての語句の選択と論文記述の問題である。配点の60%以上の得点を獲得した者の割合は55.6%で、昨年度の17.2%の3倍強へと大幅に増加したが、それでも平均得点率(58.8%)は、上記の通り他の3問には及ばなかった。

第2問の問1は、決算整理において発生する勘定科目に関する問題である。難易度はそれほど高くないと思われたが、平均得点率は60.0%と、第1問に次いで低くなった。問2の仕訳問題では、3つの設問間で得点に特段の差違はなかったようだが、全般的に借方と貸方の取り違い、及び当座預金と現金の書き間違いが

目立った。平均得点率は61.0%で、昨年度の59.0%を2ポイント上回った。

第3問は、税法及び税務申告に関する問題で、問1は組合に関する税法上の取り扱いについて述べた文章の中の空欄を語句又は数字で埋める問題、問2は税務申告の計算問題である。出題傾向が昨年度までと変わらなかったためか、配点の60%以上の得点を獲得した者の割合は、問1は81.2%で昨年度の62.5%を18.7ポ

イント上回ったが、問2は81.9%と昨年度の84.3%を2.4ポイント下回った。

第4問は、損益計算書（費用配賦表を含む。）及び貸借対照表の作成問題である。出題項目は昨年度と同じであったためか、平均得点率は64.0%と昨年度の49.7%を14.3ポイント上回った。しかし、本設問の成績には、例年のことではあるが、理解している者と理解に欠ける者との差が大きく現れていた。

第1問

中小企業等協同組合会計基準に関する下記の（問1）及び（問2）に答えなさい。

（問1）

次に掲げた文章中の□の中に下記の語群の中から最も適切な語句を選び、その記号を解答用紙の解答欄に記入しなさい。

□イ□はすべての□ロ□につき□ハ□の□ニ□の原則に従って正確な□ホ□を作成しなければならない。

< 語 群 >

A 収支会計	B 出金伝票	C 会計帳簿	D 正 常
E 非営利会計	F 複式簿記	G 取 引	H 正 規
I 入金伝票	J 組合会計	K 主 要 簿	L 会 計
M 補 助 簿	N 簿 記		

（問2）

（問1）の文章について、解答用紙の解答欄に200字以内で説明しなさい（200字を超えた場合は、減点します。）。

〔解答例〕

第1問

（問1）

イ	ロ	ハ	ニ	ホ
J	G	H	N	C

(問2)

これは正規の簿記の原則の説明を求めているものであり、少なくとも以下に述べる3つの内容からなるものである。1. 日々の取引記録が順を追って明瞭・正確に整然と帳簿に記録されること。2. 日々の取引記録が客観的に証明可能な証拠に基づいてなされること。3. 日々の取引記録の結果を仕訳して諸勘定に転記することにより組合の財政状態と経営成績が明らかになるように財務諸表が複式簿記によって誘導的に作成されること。

第2問

(問1)

次に掲げた勘定科目のうち、「経過勘定」に該当するものにはAを、「評価勘定」に該当するものにはBを、いずれにも該当しないものにはCを、解答用紙の解答欄に記入しなさい。

1. 未収利息
2. 貸倒引当金
3. 未払金
4. 減価償却累計額
5. 前払保険料

(問2)

次の取引についての仕訳を解答用紙の解答欄に記入しなさい。消費税は考慮しなくてよい。なお、勘定科目は下記の語群の中から選んで使用すること。

- (1) 通常総会において承認され、未払計上していた出資配当金300,000円について源泉所得税20%を差し引き、小切手で支払った。
- (2) 期末における貸金等の合計額80,000,000円に対し0.5%の貸倒引当金を計上する。
- (3) 理事会で当組合への加入が承認された甲社より、組合出資金500,000円及び加入事務手数料30,000円が組合の当座預金口座に振り込まれた。

< 語 群 >

加入手数料収入	現 金	未払利用分置配当金
貸倒引当金	出 資 金	貸倒引当金繰入
預 り 金	未払出資配当金	当 座 預 金

平成17年6月15日

中小企業だより

第三種郵便物認可

〔解答〕

第2問

(問1)

1 .	2 .	3 .	4 .	5 .
A	B	C	B	A

(問2)

(単位 円)

	借 方	金 額	貸 方	金 額
(1)	未払出資配当金	300,000	当 座 預 金 預 り 金	240,000 60,000
(2)	貸倒引当金繰入	400,000	貸 倒 引 当 金	400,000
(3)	当 座 預 金	530,000	出 資 金 加入手数料収入	500,000 30,000

(以下、次号に続く)